

新規活動計画案（第 10 回協議会以降に提出された計画案）

No.	実施主体名 (提出者)	事業・活動名	関連小委員会				
			牧野 管理	生物 多様性	草原環 境学習	野草 資源	草原観 光利用
1	宇野公子 (花咲盛野草園)	花咲盛における生物多様性保 全活動		◎	○		
2	(財)阿蘇グリーンストック	野焼き及び輪地切り支援ボラ ンティア活動	◎	○			
3	(財)阿蘇グリーンストック	2010 年度秋の輪地切り支援ボ ランティア活動	◎	○			
4	(財)阿蘇グリーンストック	財団設立 15 周年記念シンポジ ウム	○	○	◎	○	○
5	(財)阿蘇グリーンストック	平成 22 年度地域生物多様性保 全活動策定事業(湿地現況調査 と保全計画の策定)	○	◎			
6	NPO 法人 九州バイオマ スフォーラム	阿蘇の草原を守るために「野草 紙を作ろう」プロジェクト			◎ ★	○	
7	(財)再春館一本の木財団	草原再生事業「野焼き」			◎		
8	阿蘇地域農業振興協議会 畜産部会	あか牛の流通・消費拡大の取り 組み～阿蘇あか牛肉料理認定 店制度～	◎				
9	環境省九州地方環境事務 所、新宮牧野、阿蘇市	輪地切り作業軽減のための小 規模樹林除去事業	◎	○			
10	環境省九州地方環境事務 所	野草地の利用を支援する作業 道整備事業	◎	○			
11	環境省九州地方環境事務 所	放牧牛の採食による牧野輪地 切り作業の支援（モーモー輪 地）	◎	○			
12	(有)野外教育研究所 IOE	阿蘇エコツアー（修学旅行）			◎		

◎：当該実施計画の検討を主に受け持つ

○：必要に応じて検討・協議を行う

★：阿蘇草原キッズプロジェクトの一環として実施するもの

○活動計画案に対する評価・助言等の視点（第3回草原環境学習小委員会資料より）

1. 全体構想との整合性

- ◇ 目標との整合性：当該実施計画で目標としていることが、全体構想の目標と矛盾がないか。また、目標のどの部分に相当するか
- ◇ 「取り組みの内容」の項目のどこに当てはまるか
計画の内容、実施方法について、「取り組みの進め方」6項目や「取り組みの内容」の考え方と矛盾がないか。

2. 草原環境学習小委員会としての助言

- ◇連携・協力相手の紹介、協力のしかた
 - ・ 効果的、効率的な事業実施のために必要な連携・協力方法、具体的な相手の紹介
 - * プログラム内容、ガイド等
 - * 受け入れ窓口
 - * 情報公開、情報発信
- ◇フィールドに関する助言
 - ・ 希少種保護や草原環境保全上の視点から公開・利用の是非、利用方法について
 - ・ 牧野組合等との調整（牧野利用のルール、組合員のかかわり、実施のための経費等）
- ◇補助事業等の紹介

新規活動計画案 1

提出日	平成 22 年 8 月 26 日	活動区分 ※事務局で記入	(2) (3)
実施主体名 (提出者)	団体・法人／個人名：宇野公子（花咲盛野草園）		
	連絡先： 住所：熊本県阿蘇郡南阿蘇村河陰 5203-4 TEL 0967-67-2837 FAX 0967-67-2837 担当部署／担当者名：宇野公子		
事業・活動名	花咲盛における生物多様性保全活動		
実施場所	花咲盛野草園		
実施日・期間	平成 22 年 4 月 1 日～平成 23 年 3 月 31 日		
事業・活動の 背景とねらい	阿蘇高森花咲盛野草園での生物多様性に富んだ自然と向き合いさまざまな活動を行うことにより、草原に対する意識を高め生物多様性の保全活動を実施したものにす。		
事業・活動 の概要	<p>〈草刈り・草集め・輪地切り・輪地焼き〉</p> <ul style="list-style-type: none"> ・実施日：2010 年 10/3、9、10、16、17、22、23、24 ・参加者：会員実施主体 ・実施面積：(9ha) <p>〈野焼き〉</p> <ul style="list-style-type: none"> ・実施日：2011 年 3 月未定 ・参加者：阿蘇グリーンストック支援ボランティア（15 名） ・実施面積：約 3ha <p>〈観察会〉</p> <ul style="list-style-type: none"> ・第 1 回：2010/4/25 参加者 38 名 ・第 2 回：6/11 24 名、6/12 33 名、6/13 20 名、6/14 14 名、6/16 22 名 参加者 6/17 12 名 6/11～17 迄延べ 125 名 ・第 3 回：2010/7/4 参加者 7 名 雨天の為 		
実施体制	<ul style="list-style-type: none"> ・草刈り・輪地切り・会員 花咲盛野草園（実施主体） ・野焼き：阿蘇グリーンストック野焼き支援ボランティア 花咲盛野草園（実施主体） ・観察会：花咲盛野草園（実施主体） 		
その他 特記事項	<p>◇2010 年冬の間京都大学調査区内の大木などの木々の伐採 その後の生育状況についての調査を 2010 年 5 月 24 日、25 日、26 日、10 名の方々により実施されています。</p> <p>その後、2010 年 8 月 20 日 4 名による確認調査を実施されました。</p> <p>◇2010 年 10 月には、調査区内の草刈りを行う予定です。</p> <p>◇今後も草原環境の保全に向けて野草園の維持管理を続けていくにあたり皆様からアドバイスをいただきたいと思います。よろしくお願ひします。</p>		

新規活動計画案 2

提出日	平成 22 年 9 月 6 日	活動区分 ※事務局で記入	(1) (2)
実施主体名 (提出者)	団体・法人／個人名： 財団法人阿蘇グリーンストック		
	連絡先：財団法人阿蘇グリーンストック 住所：熊本県阿蘇市の石 1537 TEL 0967-35-1110 FAX 0967-35-1151 担当部署／担当者名 山内康二		
事業・活動名	野焼き及び輪地切り支援ボランティア活動		
実施場所	阿蘇郡市各牧野及び山都町牧野		
実施日・期間	平成 23 年 2 月中旬～平成 23 年 4 月上旬		
事業・活動の 背景とねらい	阿蘇の草原維持に欠かせない輪地切り、野焼き作業が地元牧野組合員の減少と高齢化により、地元の人々だけでは難しくなっているため、九州内外の人々に呼びかけ、研修を行なった上で野焼き・輪地切り支援ボランティアを派遣し、地元の人々による野焼き・輪地切り作業を支援する。活動を通して、地元の人々と共に「阿蘇千年の草原」の維持・保全を行なう。		
事業・活動 の概要	<p>(1) ボランティアリーダーによる今春の野焼き・輪地切り支援活動の安全確認会議 1 月下旬 参加者 40 名前後予定</p> <p>(2)今春野焼き支援ボランティアに参加を希望する初心者の方への初心者研修会 ・第 1 回 2 月 12 日～13 日 ・第 2 回 19 日～20 日 参加者合わせて 100 名予定</p> <p>(3)春の輪地切り・野焼き作業へのボランティア支援活動 延べ 50 ヶ所予定 参加予定人員 約 1, 000 名</p>		
実施体制	財団スタッフ 計 5 名 ボランティアリーダー 計 65 名 野焼き支援ボランティア 約 650 名		
その他 特記事項	・運営資金への支援		

新規活動計画 3

提出日	平成 22 年 9 月 6 日	活動区分 ※事務局で記入	(1) (2)
実施主体名 (提出者)	団体・法人／個人名： 財団法人阿蘇グリーンストック		
	連絡先：(財) 阿蘇グリーンストック 住所：熊本県阿蘇市的石 1537-1 TEL 0967-35-110 FAX 0967-35-1151 担当部署／担当者名 山内康二		
事業・活動名	2010 年度秋の輪地切り支援ボランティア活動		
実施場所	阿蘇郡市各牧野及び山都町牧野		
実施日・期間	平成 22 年 8 月 29 日～平成 22 年 12 月上旬		
事業・活動の 背景とねらい	<p>毎年夏から秋にかけて行われる春の野焼きに向けた「輪地切り(防火帯づくり)」は、総延長 500～600km にも及び、傾斜の多い草原の草を刈る作業で、危険も多く、暑い中大変な労力を要します。この阿蘇の野焼きに欠かせない輪地切りが、牧野組合員の減少と高齢化により、地元の人々だけでは維持が難しくなっているため、都市のボランティアによる支援活動を行っています。</p> <p>活動を通して、地元の人々と共に「阿蘇千年の草原」の維持・保全を行っています。</p>		
事業・活動 の概要	<p>ボランティアリーダーによる今秋の輪地切り支援活動の安全確認会議 8 月 28 日 参加者約 43 名</p> <p>秋の輪地切り支援活動(予定) 延べ 38 ヶ所 参加予定人員 約 700 名</p> <p>実施牧野 田子山、町古閑、下荻の草、他(詳細は別紙の通り)</p>		
実施体制	<p>財団スタッフ 計 5 名 ボランティアリーダー 計 60 名 野焼き支援ボランティア 計 650 名</p>		
その他 特記事項	<p>輪地切り支援活動は、財団の研修(野焼き支援ボランティア初心者研修会)を受けなくても参加できるので、参加してみたい方は、ぜひお願い致します。</p> <p>農水省の農村景観・自然環境保全再生パイロット事業の助成を受けました。</p>		

新規活動計画 4

提出日	平成 22 年 9 月 6 日	活動区分 ※事務局で記入	(1) (2) (3) (4) (5)
実施主体名 (提出者)	団体・法人／個人名：財団法人阿蘇グリーンストック 連絡先：財団法人阿蘇グリーンストック 住所：熊本県阿蘇市石 1537 TEL 0967-35-1110 FAX 0967-35-1151 担当部署／担当者名 山内康二		
事業・活動名	財団設立 15 周年記念シンポジウム		
実施場所	熊本県民交流館パレア(熊本市)		
実施日・期間	平成 22 年 10 月 8 日(金)		
事業・活動の 背景とねらい	財団の説立 15 周年を記念して、『阿蘇草原の多面的な価値について』をテーマにシンポジウムを行う。阿蘇の草原の多様な価値をいろいろな観点から探り、草原保全・草原再生の大切さ、理解を広める。		
事業・活動 の概要	<ul style="list-style-type: none"> ・基調講演① 高橋佳孝氏 (独立行政法人近畿中国四国農業研究センター・阿蘇草原再生協議会会長) ・基調講演② 山田 敏彦氏 (北海道大学 北方生物圏フィールド科学センター生物資源創成領域&生物生産研究農場) ・パネルディスカッション コーディネーターは高橋先生 パネラー ①当真 要氏(北海道大学 北方生物圏フィールド科学センター 生物生産研究農場 博士研究員) ②白川勝信氏(広島県北広島町立 高原の自然館学芸員) ③市原啓吉氏(町古閑牧野組合長・草原再生シールの会代表) ④坂元英俊氏(阿蘇地域振興デザインセンター事務局長) 		
実施体制	財団スタッフ 呼びかけは <ul style="list-style-type: none"> ・野焼き支援ボランティア会員、維持賛助会員、草原再生協議会会員 ・地元牧野組合、地元町村 ・環境省、農政局、熊本県 ・その他一般へ呼びかける 		
その他 特記事項	<ul style="list-style-type: none"> ■名義後援予定 九州農政局・環境省九州地方環境事務所・熊本県・全国草原再生ネットワーク・熊本日日新聞社・NHK熊本放送局・熊本朝日放送・熊本放送・熊本県民テレビ・テレビ熊本・エフエム熊本 ■協賛 阿蘇草原再生協議会 ■熊本県中山間ふるさと水と土保全対策事業の基金を活用しています 		

新規活動計画案 5

提出日	平成 22 年 9 月 6 日	活動区分 ※事務局で記入	(1) (2)
実施主体名 (提出者)	団体・法人／個人名：財団法人阿蘇グリーンストック 連絡先：(財)阿蘇グリーンストック 住所：熊本県阿蘇市の石 1537-1 TEL 0967-35-110 FAX 0967-35-1151 担当部署／担当者名 山内康二		
事業・活動名	平成 22 年度地域生物多様性保全活動策定事業(湿地現況調査と保全計画の策定)		
実施場所	阿蘇市北外輪地域		
実施日・期間	平成 22 年 8 月 26 日 ～ 平成 22 年 3 月 18 日		
事業・活動の 背景とねらい	<p>阿蘇草原地域に点在する湿地は、モウセンゴケ、サギソウ、ツクシフクロなど特有の希少な植物が生息しており、これらには「大陸系遺存植物」が多く含まれている。また、サクラソウの日本最大の群落がある等、生物多様性の保全上重要な地域である。しかしながら、阿蘇の草原が危機に瀕する中、特に湿地は利用価値も少ないことから、放棄され、環境の劣化が進んでいる。</p> <p>このようなホットスポットにおいて、周囲の草原環境の維持管理体制の変化や盗掘などにより、草原性湿地において急速に衰退しつつある生物多様性の危機的状況を総合的に明らかにするとともに、地元の意見も踏まえた専門家の委員会による総合的な維持管理及び保全計画をまとめ、地元牧野組合や行政及び野焼き支援ボランティアメンバー等との連携による湿地に生物多様性保全に向けた今後の維持管理活動につなげていくことを目的とした自然再生事業実施計画の策定のための調査・検討。</p>		
事業・活動 の概要	<p>阿蘇草原地域に点在する 40 数ヶ所の湿地の中から、生物多様性保全の観点で重要度の高い湿地 8～10 ケ所を選定し、地元牧野組合員、学識者、ボランティアが一緒になって現地調査を行い、湿地の広がりや植生及び水性・陸生昆虫類の分布等、湿地の維持・保全管理に向けた現状と課題を把握する。</p> <p>上記調査を踏まえ、専門家による検討委員会を開催し、地元牧野組合とボランティアの連携による各湿地の今後の維持・保全管理手法及びモニタリング手法を検討する。</p> <p>また、地元牧野組合、学識者、ボランティアの協議により、盗掘を防ぐとともに湿地の重要性を広く普及するため、監視をしながら公開する仕組みを検討する。</p> <p>以上の検討を踏まえ「阿蘇草原湿地保全・再生事業実施計画」(仮称)を策定する。</p>		
実施体制	専門委員 計4名 関係行政機関代表、牧野組合役員及び地元有識者、(財)阿蘇グリーンストック		
その他 特記事項			

新規活動計画案 6

提出日	平成 22 年 9 月 8 日	活動区分 ※事務局で記入	(3) (4)
実施主体名 (提出者)	団体・法人／個人名： NPO 法人 九州バイオマスフォーラム 連絡先：事務局 住所：阿蘇市一の宮町宮地5816 TEL：050-3305-6577 FAX：0967-22-1014 担当部署／担当者名：藤田 幸代		
事業・活動名	阿蘇の草原を守るために「野草紙を作ろう」プロジェクト		
実施場所	阿蘇市内		
実施日・期間	平成 22 年 4 月～平成 24 年 3 月		
事業・活動の 背景とねらい	現在の阿蘇の子どもたちの中には、草原に行ったことのない子どももいることから、草原の成り立ちや大切さについて学ぶことが、これからの草原保全にとって重要と考えました。 そこで、阿蘇に住んでいる子ども達と草原に行き、野草を刈り、野草を原料とした紙漉きを行うという一連のワークショップを通して、草資源利用と草原保全の大切さを学ぶ体験型の環境学習を企画・実施します。		
事業・活動 の概要	○阿蘇市内の小学校に在籍している、主に6年生を対象に出前講座を開催し、阿蘇の草原・生物などに興味を持つことで、草原を大切に思う気持ちを育成したり、農業後継者などの草原を利用しつつ守っていく担い手育成のきっかけとなる場を提供する。また、資源活用の学習として「野草入り卒業証書作り」を行う。 ○阿蘇市外の団体を対象としても、体験型環境学習のプログラムとして阿蘇地域でグリーンツーリズムを推進している団体と連携し、「牛乳パックを再利用した野草入りハガキ作り体験」を通して阿蘇の草原についての学習と景観保全や資源活用などへの関心を高めるきっかけ作りを行う。 ○環境教育や紙漉きに興味のある方、地域の有志の方々を対象に指導者育成を実施する。 ○小学校での草原環境学習について、継続性のあるものにするために、野草紙名刺を販売し、その販売収益を基に運営を行っていくことを目指す。また、名刺の売り上げに応じて、1枚当たり1円を阿蘇環境共生基金もしくは阿蘇草原再生募金に寄付を行う。		
実施体制	NPO 法人九州バイオマスフォーラム:事業実施・運営管理 専門委員会:ワークショップ受け入れ対応 参加学校&団体:ワークショップに参加 〈事業活動資金〉 ○野草入り卒業証書作り:セブンイレブン「みどりの基金」の助成金による ○牛乳パックを再利用した野草入りハガキ作り:九州ろうきんの助成金による		
その他 特記事項	<ul style="list-style-type: none"> ・本事業は、「★草原キッズプロジェクト★」の一環として実施する。 ・完成した手漉き野草紙は、卒業証書や記念品として使うことが可能です。 ・野草紙名刺の販売(税込)：100枚 3,000円(送料別) 300枚 8,000円(送料込) 		

新規活動計画 7

提出日	平成22年9月 9日	活動区分 ※事務局で記入	(3)
実施主体名 (提出者)	団体・法人/個人名：財団法人再春館一本の木財団		
	連絡先：財団法人再春館一本の木財団 住所：上益城郡益城町寺中1363-1 TEL 096-289-4179 FAX 096-287-4612 担当部署/担当者名：作田		
事業・活動名	草原再生事業「野焼き」		
実施場所	牧野組合		
実施日・期間	平成22年3月頃		
事業・活動の 背景とねらい	熊本の子供たちが、「野焼きの体験」を通して、阿蘇の素晴らしい自然と人々の 営みがあることを伝える。 子供たちが家族などが阿蘇の自然を理解し、阿蘇の草原保全再生へ理解を深め る。		
事業・活動 の概要	① 実施予定 平成23年3月頃 ② 参加者 50名程度 熊本市市内等小学生 ③ 内容等 ・草原の話し ・火消し棒作成 ・野焼き体験 など ④ 安全管理対策等 牧野組合、阿蘇クリーンストック野焼きボランティア等の 協力を予定。		
実施体制	① 主催 財団法人再春館「一本の木」財団 ② 共催予定 (財)阿蘇クリーンストック ③ 牧野組合などの協力を得ながら草原の営みや保全、野焼きの支援協力をお 願いする。		
その他 特記事項	・実施計画についてはこれから企画し、関係機関団体等への支援協力をお願い する事としておりますので、ご支援、ご協力をお願いいたします。		

新規活動計画 8

提出日	平成 22 年 9 月 10 日	活動区分 ※事務局で記入	(1)
実施主体名 (提出者)	団体・法人/個人名： 阿蘇地域農業振興協議会畜産部会 部会長 日置和彦 連絡先：阿蘇地域農業振興協議会畜産部会事務局 (熊本県阿蘇地域振興局農業普及・振興課) 住所：阿蘇市一の宮町宮地 2402 TEL 0967-22-5212 FAX 0967-22-3563 担当部署/担当者名 畜産支援班 山下裕昭		
事業・活動名	あか牛の流通・消費拡大の取り組み～阿蘇あか牛肉料理認定店制度～		
実施場所	阿蘇郡内の認定店 (46 店舗)		
実施日・期間	平成 22 年 4 月 1 日～平成 23 年 3 月 31 日 (本認定制度は、平成 17 年 2 月から実施)		
事業・活動の 背景とねらい	阿蘇地域で育ったあか牛の肉を提供する管内の旅館・ホテル・ペンション・レストラン等を阿蘇あか牛肉料理認定店として認定し、広く認定店制度を PR することによって、阿蘇あか牛のブランド化と消費拡大を推進する。		
事業・活動 の概要	(1) 阿蘇あか牛肉料理認定店の新規認定 (2) 魅力ある店舗づくりのための認定店研修会の開催 (3) 認定店証の交付、のぼり旗、認定店を紹介したドライブマップ等 PR 資料の作成・配布 (4) 「あか牛と新米フェア」による認定店への誘客促進及び阿蘇あか牛の周知 ・開催時期：平成 22 年 10 月 ・内 容：認定店におけるあか牛肉料理の提供 スタンプラリーの実施による新米のプレゼント (5) 「阿蘇ご当地グルメスタンプラリー」(阿蘇ご当地グルメ制作委員会主催)への参加による誘客促進及び阿蘇あか牛の周知 ・開催時期：平成 22 年 11 月から平成 23 年 3 月 ・内 容：阿蘇地域で展開されている各種グルメ(あか牛、だご汁、ハヤシライス、そば、田楽、プリン)を観光素材として活用し、誘客促進を図る。		
実施体制	阿蘇地域農業振興協議会畜産部会(構成団体：市町村、農業協同組合、畜産農業協同組合、酪農業協同組合、県関係機関)の牛肉消費拡大事業で実施する。		
その他 特記事項			

新規活動計画 9

提出日	平成22年9月13日	活動区分 ※事務局で記入	(1) (2)
実施主体名 (提出者)	団体・法人/個人名： 環境省九州地方環境事務所、新宮牧野、阿蘇市		
	連絡先：九州地方環境事務所 住所：熊本県熊本市尾ノ上1-6-22 TEL：096-214-0336 FAX：096-214-0350 担当部署/担当者 国立公園・保全整備課 課長補佐 田代清		
事業・活動名	輪地切り作業軽減のための小規模樹林除去事業		
実施場所	熊本県阿蘇市新宮牧野内		
実施日・期間	平成22年10月～平成23年3月		
事業・活動の 背景とねらい	<ul style="list-style-type: none"> ・阿蘇の草原は、農業・畜産業の担い手の減少や高齢化等により維持が困難になってきている。 ・樹林除去予定地はスギ・ヒノキの造林地であり、野焼き時の延焼防止のため毎年急傾斜地での輪地切り作業が必要となっている。今回、造林地について、分収林契約者の承諾が得られたため植栽木の伐採除去を行うものである。 ・樹木の伐採除去を行うことで、輪地切り労力の軽減や、延焼防止が図られ、牧野組合員の心労軽減にもつながる。 ・また、伐採後は草原として管理するため草原面積の増加にもつながる。 		
事業・活動の 概要	<p>(1) 輪地切り・輪地焼き・野焼き時の労力軽減や作業の安全性を高めるため小規模樹林除去を行う。</p> <p>(2) 野焼きを継続し、本来の自然豊かな野草地として再生を図るため、小規模樹林除去の事業を行う。</p> <p>(3) 小規模樹林除去（輪地作設）面積 0.84 ha 草原復活面積 7.22 ha 実施牧野 新宮牧野組合</p>		
実施体制	<ul style="list-style-type: none"> ・新宮牧野組合 ・九州地方環境事務所 ・阿蘇市役所 		
その他 特記事項	<ul style="list-style-type: none"> ・環境省が策定した「平成19年度新宮牧野野草地保全計画」に基づく事業 		

新規活動計画案 10

提出日	平成 22 年 9 月 9 日	活動区分 ※事務局で記入	(1) (2)
実施主体名 (提出者)	団体・法人／個人名： 環境省九州地方環境事務所		
	連絡先：九州地方環境事務所 住所：熊本県熊本市尾ノ上 1-6-22 TEL 096-214-0336 FAX 096-214-0350 担当部署／担当者 国立公園・保全整備課 課長補佐 田代 清		
事業・活動名	野草地の利用を支援する作業道整備事業		
実施場所	阿蘇郡市 日の尾、湯浦、池ノ窪牧野組合		
実施日・期間	平成 22 年 9 月～平成 23 年 3 月		
事業・活動の 背景とねらい	<p>・阿蘇の草原は、利用可能な野草地が有るにもかかわらず、道の整備が進んでいないため、利用ができず、野焼きのみの管理となっている箇所もある。作業道を整備し、これまで未利用だった野草地を利用できるように各牧野組合内で計画するものである。また、輪地切り、野焼き時の移動にも作業道の整備は必要であり、作業道の整備を行うことで、労力の軽減を図るものである。</p> <p>作業道整備は、九州地方環境事務所の支援メニューの一つであり、牧野組合を支援するものである。</p>		
事業・活動 の概要	<p>(1) 野草地の未利用地の利用促進を図る。</p> <p>(2) 野焼き時の労力軽減を図るため、作業道を整備する。</p> <p>(3) 野焼きを継続し、本来の自然環境豊かな野草地として再生を図るため、作業道を整備する。</p> <p>作業道整備牧野、延長 実施牧野 日の尾牧野（舗装コンクリート）約 607.2m 湯浦牧野 約 639.7m、池ノ窪牧野 510m</p>		
実施体制	九州地方環境事務所		
その他 特記事項	九州地方環境事務所と牧野組合とで野草地環境保全計画書を作成し、現状把握・整備内容の整理等を行うことが必要である。 今回は、計画書に基づき、牧野組合へ行う九州地方環境事務所の支援メニューである。		

新規活動計画案 11

提出日	平成 22 年 9 月 7 日	活動区分 ※事務局で記入	(1) (2)
実施主体名 (提出者)	団体・法人／個人名： 環境省九州地方環境事務所 連絡先：九州地方環境事務所 住所：熊本県熊本市尾ノ上 1-6-22 TEL 096-214-0336 FAX 096-214-0350 担当部署／担当者 国立公園・保全整備課 課長補佐 田代 清		
事業・活動名	放牧牛の採食による牧野輪地切り作業の支援（モーモー輪地）		
実施場所	阿蘇市、跡ヶ瀬・二塚・木落牧野組合		
実施日・期間	平成 22 年 9 月～平成 22 年 12 月上旬		
事業・活動の 背景とねらい	阿蘇市内の 3 牧野内において、放牧牛の採食活動を利用した、輪地切りの省力化を目標として設定した。		
事業・活動 の概要	(1) 野焼きを行う区域の廻りには輪地を作らなければならない、その輪地切りの区域内を電気柵を設置し、放牧された牛にその中の草を食べさせることにより、草丈が短くなり、秋の輪地切り作業の省力化と、牧野組合の労務の軽減を図ることが出来る。 実施牧野 電気柵延長 跡ヶ瀬牧野 1681m・ 二塚牧野 383.9m 木落牧野 1577m		
実施体制	九州地方環境事務所 調査箇所、跡ヶ瀬・二塚・木落牧野組合		
その他 特記事項	九州地方環境事務所と牧野組合とで野草地環境保全計画書を作成した中での九州地方環境事務所の支援メニューづくりの中の事業である。		

新規活動計画案 12

提出日	平成 22 年 9 月 14 日	活動区分 ※事務局で記入	
実施主体名 (提出者)	団体・法人／個人名：(有) 野外教育研究所 IOE		
	連絡先： 住所：熊本市長嶺南 2 丁目 5-31 TEL 096-387-6922 FAX 同じ 担当部署／担当者名 伊志嶺朝紀・山内一平		
事業・活動名	阿蘇エコツアー（修学旅行）		
実施場所	杵島岳ルート、中岳ルートなど		
実施日・期間	平成 22 年 4 月 1 日～平成 23 年 3 月 31 日		
事業・活動の 背景とねらい	<p>修学旅行で阿蘇を訪ねる方々に、阿蘇の魅力とその成り立ちや維持など風景からだけでは、とらえることのできないようなことを知ってもらおう。 自然保護の精神や地域力の大切さなど、それぞれに地域に帰って自分の地域に置き換え、自然や地域に対する取り組みやその思いを人へ伝えることができるような活動とします。</p>		
事業・活動 の概要	<p>学校団体からエコツアーの要望のあった学校へ向け実施。 例として草千里～杵島岳ルートを 1 クラス単位で引率し、阿蘇地域解説→植物観察→火山の成り立ち→神話→ネイチャーゲーム→草原維持の話などのような順序で約 2 時間半の往復で実施いたします。</p>		
実施体制	<p>1 クラスあたり 1～2 名のガイドを配置。 ガイド、危険管理、救急対応などの業務を担当する。</p>		
その他 特記事項			